

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年1月31日作成)

小委員会名	デジタルファブ리케이션によるRC工事研究小委員会	主査名：寺西 浩司 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：橋高 義典 主査名：野口 貴文
設置期間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	デジタルファブ리케이션 (DF) 等に関する技術の現状を調査し、RC工事に活用可能な技術、課題を整理するとともに、ビジョン、ロードマップを作成する。 初年度：DF・情報化施工技術の調査・整理・公開方法などについて検討する。 2年度：DF・情報化施工技術の現状を幅広く調査・整理して取りまとめる。 3年度：RC工事に適用可能なDF技術の用途や課題を洗い出す。 4年度：DF・情報化施工に根ざしたRC工事のビジョン・ロードマップを示す。	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：寺西浩司(名城大学) 幹事：西脇智哉(東北大学) 委員：東大智(會澤高圧コンクリート)、伊藤洋介(名古屋工業大学)、梶田秀幸(前田建設工業)、加藤優志(大成建設)、兼松学(東京理科大学)、坂井絵梨子(鹿島建設)、坂上肇(大林組)、瀬古繁喜(愛知工業大学)、土屋直子(国土技術政策総合研究所)、寺本篤史(広島大学)、西尾淳(清水建設)、濱崎仁(芝浦工業大学)、藤本郷史(宇都宮大学)	
設置WG (WG名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・3DプリンターWG：建設3Dプリンティング技術の調査・研究 ・DF技術全般WG：RC工事で活用可能な種々のデジタル技術の調査・研究 	
2022年度予算	500,000円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項目	自己評価
委員会開催数	7回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	PD：デジタルファブ리케이션が切り開くRC工事の未来 参加者数 130名 『材料施工部門(RC工事)パネルディスカッション資料：同上』[PDF]
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	建設3Dプリンティング技術、RC工事で活用可能な種々のデジタル技術の現状、課題、将来像などを一通り整理したうえで、それらを踏まえてパネルディスカッションを開催し、RC工事へのDFの導入について建築技術者の意見を収集した。
委員会活動の問題点・課題	建設3Dプリンティングなどの先鋭的なDF技術を普及させるためには、材料施工分野だけではなく、構造、計画、建築法制、情報システム技術などの分野と幅広く連携して検討を進める必要がある。